

# 紫外線に注意！！

No.0407

## 光線過敏症とは？

日光などの照射を受けた皮膚にあられる皮膚炎の総称です。皮膚に異常を呈さない程度の日常の光照射でも、障害が生じることがあります。ただし、**すべての人に発症するわけではありません。**

## 光線過敏症の原因は？

先天的な異常などの内的因子が原因で起こる場合もありますが、内服薬や外用薬・注射薬などの外的因子によって起こる症例も報告されています。**薬剤による発生頻度は、数パーセント以下なので、発症するのはまれです。**

## 薬剤による光線過敏症は？

内服薬や注射薬などによって発症するものは光線過敏型薬疹と呼ばれ、顔面、うなじ、前胸部、腕、手の甲などの日が当たりやすい部分に皮疹が生じます。

外用薬によって発症するものは光接触皮膚炎と呼ばれ、顔面、うなじ、前胸部、腕、手の甲などの日が当たりやすい部分でかつ原因薬剤が塗布された部位に一致して皮疹が生じます。

## 光線過敏症の予防は？

戸外にでるときは天候にかかわらず、濃い色の長袖やスラックス、サポーター等を着用したり、日焼け止めクリームを塗布するなど、紫外線に当たらないようにしてください。

## 光線過敏症になったと思ったら？

なるべく日光を避け、速やかに主治医もしくは皮膚科医に相談してください。

## 光線過敏症を起こしやすい薬剤は？

別記を参照してください。

質問等ありましたら、お気軽にお尋ねください。

名古屋通信病院 薬剤部  
(電話 052-932-7141)

光線過敏症を起こしやすい薬剤

分類	商品名	成分名	分類	商品名	成分名				
内用薬	抗生剤	ジスロマック	アジスロマイシン	外用薬	高脂血症治療剤	リビトール	アトルバスタチン		
		ミノマイシン	塩酸ミノサイクリン			リボバス	シンバスタチン		
		クラリス	クラリスロマイシン			リバンチル	フェノフィブラート		
	抗ウイルス剤	バルトレックス	塩酸バラシクロビル		高尿酸血症改善剤	ユリノーム	ベンズプロマロン		
		抗真菌剤	ラミシール			塩酸テルビナフィン	消炎鎮痛剤	ハイベン	エトドラク
								ニフェジピン	ザルトプロフェン
	アムロジピン	ニフェジピン	ボルタレン		ジクロフェナクナトリウム				
	降圧剤	カルブロック	アゼルニジピン		アレルギー剤	セレスタミン	ベタメタゾン・マレイン酸クロルフェニラミン		
			塩酸ジルチアゼム			ボラミン	マレイン酸クロルフェニラミン		
			塩酸ニカルジピン			ニボラジン	メキタジン		
	利尿剤	ラシックス	アゼルニジピン		抗血小板剤	ブレタール	シロスタゾール		
			メフルシド			抗てんかん剤	テグレトール	カルバマゼピン	
フルセミド			造血剤	フェロミア			クエン酸第1鉄ナトリウム		
化学療法剤	ユーエフティ	マレイン酸エナラプリル		インクレミン	ピロリン酸第2鉄				
		テガフル		抗リウマチ剤	アザルフジン	サラゾスルファピリジン			
		テガフル	リウマトレックス		メソトレキセート				
ドキシフルリジン	潰瘍性大腸炎治療剤	サラゾピリン	サラゾスルファピリジン						
フルオロウラシル		鎮吐剤	ドラマミン	ジメンヒドリナート					
糖尿病剤			オイグルコン	シメトレル	塩酸アマンタジン				
	グリベンクラミド			抗パーキンソン剤	抗生剤	アクロマイシン	塩酸テトラサイクリン		
	グリベンクラミド	テラジア				スルファジアジン			
グリメピリド	消炎鎮痛剤	モーラス	ケトプロフェン						
ボグリボース		注射薬	インターフェロン	スミフェロン	インターフェロンアルファ				
ポロキサミン									
精神神経剤	ルジオミール	塩酸マプロチリン	注射薬	インターフェロン	スミフェロン	インターフェロンアルファ			
		ハロペリドール							
精神神経剤	セレネース	マレイン酸フルボキサミン	注射薬	インターフェロン	スミフェロン	インターフェロンアルファ			
		デプロメール							